

平成31年度第1回山元町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成31年4月23日（火） 午後2時30分から午後3時43分
- 2 開催場所 山元町勤労青少年ホーム 1階 講義室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 概要 以下のとおり
 - (1) 開催
 - (2) 開会の挨拶
 - (3) 議題
 - ①山元町小・中学校再編方針（冊子）について
資料1に基づき説明（説明者：佐藤教育総務課長）
 - ②学校再編に係る取り組みの具体について
資料2に基づき説明（説明者：武田参事兼学校教育専門監）
 - ③学校再編とこれからの学校教育の充実（構想）について
資料3に基づき説明（説明者：佐藤教育総務課長）
 - (4) その他
 - (5) 閉会

1 開催【司会：佐藤教育総務課長】

ただいまから、平成31年度 第1回山元町総合教育会議を開会いたします。
開会にあたりまして、山元町長 齋藤 俊夫よりあいさつを申し上げます。

2 あいさつ【山元町長：齋藤俊夫】

4月も残りわずかとなり、新しい時代を迎えるタイミングとなりました。
本日は第1回目の総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

委員の皆様には、日頃から教育行政全般につきましてご尽力を頂いておりますこと心より感謝を申し上げます。

更に、古泉委員は、初めての総合教育会議ということでよろしくお願ひ申し上げます。

本来であれば、5月にこの会議を開催となりますが、この時期の開催となったのは、中学校の再編と学校教育の充実という課題に本格的に取り組むということで、皆様とともに、本町の次代を担う子どもたちの学校の在り方について意見交換を行いたいと思いますので、忌憚のない意見を頂戴いたしまして、今後の再編等を進めていきたい

と思いますので、本日はよろしくお願ひいたします。

－以下議事－

3 議 題

【司会】

ありがとうございます。

それでは、次第に基づき会議を進めさせていただきます。

会議の議長については、運営要綱第4条の規定に基づき、齋藤町長にお願いいたします。

【議長】（齋藤町長）

それでは、議長をお預かりしましたので、進めさせていただきます。

議題の（1）山元町小・中学校再編方針（冊子）について、事務局から説明をお願いします。

【説明】（佐藤教育総務課長）

はい、それでは、山元町小・中学校再編方針（冊子）について、ご説明いたします。

資料をご覧ください。この方針については、昨年12月の総合教育会議において、検討委員会での検討結果について、協議・検討を行いまして、その後に開催いたしました教育委員会定例会におきまして小中学校の再編方針として検討いただきました内容について方針書としてまとめたものとなります。

この内容につきましては、教育委員会定例会などで確認をいただき修正をしたものとなっておりますので、内容等の説明は省略させていただきますが、今後は、ホームページや議会等にも公表して参りますので、最終確認の意味で本日提案しているものです。説明は以上となります。

【議長】（齋藤町長）

ただいま、小・中学校の再編方針書について説明がありましたが、この件については12月に総合教育会議での協議、その後の教育委員会定例会において方針を決定したもので、その内容に基づき再編方針書としてまとめたものとなります。

教育委員の皆さまには、以前に確認をしていただき修正したのようになっておりますが、これら小・中学校の再編を進めることとなりますが、この方針書により進めることでよろしいでしょうか。

何かあれば、ご意見をお願いいたします。

【教育委員】（齋藤委員）

3ページ「将来児童・生徒数の推移」で山下第一小学校の新入学児童数が3人とな

っていますが、実際は1人なので、修正してはどうか。

【事務局】（佐藤教育総務課長）

はい、この表につきましては、右上に記載しておりますが、2018年の4月1日基準としておきまして、再編検討を行っていた時に資料として作成したものでありまして、検討委員会からの報告書にも記載されていたことから、一つの区切りとして、最新版ではなく、この表を使用したところではあります。

【教育委員】（菅野委員）

はい、目次の部分で、Ⅱの括弧内数値で5が2つありますので、修正をお願いします。次に、1ページで「はじめに」の下から9行目「よりより」になっているため、「よりよい」に、下から2行目、「小・中」の midpoint が赤字で記載されているので、黒字に、2ページの上から2行目の矢印を揃えること、7ページ（4）「小・中」の midpoint が赤字で記載されているので、黒字に、下から2行目、「地域とともに」の「も」が赤字なので黒字に、11ページの表題について、「検討委員会報告を受けてから方針決定までの経緯」となっており、平成29年5月24日からの記載ですが、検討委員会は平成29年11月頃から開始だったと思います。次の「議会等への報告」についても、平成29年7月からの記載となっておりますので、11ページの表題を「方針決定までの経緯」と変更した方がよいと思います。次に14ページ丸の部分ですが、ゴシック体になっており、他の丸の部分は明朝体となっているため、統一をお願いします。次に、15ページですが、「参考」という形で添付されておりますが、流れ的に、12ページの議会への報告の次に、この「検討委員会の設置、開催状況」を入れて、最後に「再編方針」とした方がよいのではないかと思います。以上です。

【議長】（齋藤町長）

ただいまの件で事務局からお願いします。

【事務局】（佐藤教育総務課長）

はい、ご指摘の件につきましては修正したいと思います。

【議長】（齋藤町長）

その他、何かありましたらお願いします。

【議長】（齋藤町長）

只今、委員の皆さんからご意見を踏まえまして修正などありますが、内容については、私もこの方針とおりに進める必要があると考えておりますので、この案件については方針書のとおり進めることでよろしいでしょうか。

【議長】（齋藤町長）

はい、それでは、次に、（２）学校再編に係る取り組みの具体について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】（武田参事兼学校教育専門監）

はい、それでは、（２）学校再編に係る取り組みの具体について説明いたします。

学校再編に取り組むにあたっての組織については、学校再編準備委員会の全体会、代表者会、検討部会で構成します。

まず、学校再編準備委員会全体会につきましては、構成員４０人程度で年１回から２回開催、内容としましては、委員の業務分担やスケジュールの確認等となっております。予定としては、４月２５日に開催することとしております。構成員の詳細については、記載のとおりですが、小・中学校校長、中学校教頭、小・中学校ＰＴＡ代表が各校２人ずつ、小・中学校評議員代表が各校１人ずつ、中学校同窓会代表が各校２人ずつ、地域住民代表２人、学識経験者２人、教育長、町長部局から総務課長、企画財政課長、町民生活課長、事務局から教育総務課職員としております。

次に、代表者会につきましては、各検討部会の代表者を中心とした確認・協議や新中学校の校名を制定する協議を進めていきます。構成員につきましては検討部会の部会長、中学校ＰＴＡ代表、中学校評議員代表、中学校同窓会代表、地域住民代表、学識経験者、教育長、町長部局、事務局で２０人程度となっております。

次に、検討部会ですが、設置するのは４つになります。（１）校章と制服、（２）校歌とスクールバス、（３）教育課程編成、（４）規則、規約となります。

（１）校章・制服検討部会については、２０人程度で月に１から２回会議を開催予定。（２）校歌制定・スクールバス導入検討部会についても２０人程度で１から２回会議を開催予定。（３）教育課程編成検討部会については、学校間の調整の下に、分野別で検討を進める予定としておりまして、構成員は中学校長１人と各中学校の担当者及び事務局としております。（４）規則・規約検討部会については、検討内容がＰＴＡに関することや同窓会に関する、生徒会に関することとしておりますので、検討内容により、別々に会合をもちながら進めることとしており、構成員は中学校長１人、中学校教頭２人、中学校ＰＴＡ代表４人、中学校同窓会代表４人と各中学校の担当者、事務局としております。

その他の検討事項につきましては、教育委員会事務局と学校間で調整、検討を進めることとしております。

組織図をご覧ください。全体会が一番上にありますが、その下の代表者会があり、その代表者会で確認されたことについては、教育委員会に報告、確認等を行っていくこととしております。

次にスケジュールについてですが、閉校関係は、教育委員会と学校が中心となって進めていくこととなると思います。記念誌作成や式典関係は来年度の２学期までに進

めていくこととなります。

学校再編準備委員会は終わりまで続いて参りますが、新中学校の校名制定については、2学期までには固めて参りたいと考えております。校名が固まれば校章や校旗などの動きが出来て参ります。

その他の項目につきましても、ご覧のスケジュールで実施して参りたいと考えております。

次の資料につきましては、中学校再編準備委員会の設置要綱となっておりますので、ご覧いただければと思います。説明は以上です。

【議長】（齋藤町長）

只今、事務局から説明がありました。中学校については2年後の開校に向けて、準備委員会を立ち上げ再編を進めていくこととなりますが、組織体制や今後のスケジュールなど事務局から説明がありました。

町といたしましても、検討の状況や今後の両中学校の閉校や、新たな中学校の開校に向け検討委員会での検討状況等を確認しながら、学校等の施設の整備や町民バスぐるりん号とスクールバスの運行の調整など、情報を共有しながら進めて行きたいと考えているところでもあります。

特に、学校跡地の利活用などについては、教育委員会とも十分情報を共有しながら検討していきたいと考えているところでもあります。

この中学校再編の進め方などに関し、委員の皆さんから確認や意見などありましたらお願いいたします。

【教育委員】（菅野委員）

スケジュールの表記について、平成30や2019など混在しているので、統一した表記をお願いします。

【教育委員】（大内委員）

校歌とスクールバスが一緒になっているのはどのような理由でしょうか。

【事務局】（佐藤教育総務課長）

校章や校歌については、募集をかけるなど外部との検討も必要であるとかんがえております。一方、制服やスクールバスについては、内部での検討が主になるかとおもいますので、その辺をバランスを考えてそれぞれ部会に分けたということで、検討内容自体はマッチングしないかと思いますが、検討の進め方はこのような組み合わせの方が、検討を進めて行くうえでいいのかなということで考えました。

【教育長】（菊池教育長）

全体として40人の集まりで、1つずつを決めていくのは時間も掛かりますし、い

かに効率的に決めていくかと考えた時に、校名、校章、校歌、制服の4つが大きい制定部分でこれを2つに分ければと思ったのですが、校名を先に決めなければいけないということと、40人の集まりを2つに分けて効率的に実施していくとした場合、校名を除いて他になにを検討して頂くかと考えて時に、次に大きいのはスクールバスなので、その4つを分担しこのように考えたところです。

【教育委員】（大内委員）

他に、同窓会についてはどのように考えているのでしょうか。

【事務局】（佐藤教育総務課長）

はい、今回、この準備委員会にはそれぞれの中学校の同窓会代表にも委員として加わって頂いております。

それぞれの同窓会をどのように閉じて、新たな学校の同窓会を立ち上げるまでに、いろいろな支援をしなければならないというところを同窓会でも考えてもらっているところもありますので、その辺りも踏まえて（4）の規約の中に同窓会から入って頂いて検討していただくこととしております。

【教育委員】（菅野委員）

新しい学校をつくるための準備は細かく出来ていて、それに基づき実施していけばよいかと思いますが、両中学校を閉じる時に例えば記念になるものを残すなども考えられ、そこのところも配慮する必要があると考えます。

【教育委員】（大内委員）

校史に学校の歴史をまとめていく人も必要だと考えます。

【教育長】（菊池教育長）

同窓会の方とのやりとりは（4）の検討部会で閉校の記念誌づくりや新しい学校の同窓会の持ち方、支援の仕方、坂元中学校のなにかは移設し残そうとか、例えば中浜小学校が坂元小学校に統合されましたが、坂元小学校の教室の一部に中浜小学校の看板や沿革誌を展示しているスペースがあります。中学校も2つを1つにした時に両中学校のなにかしらを残して見られるようなスペースも必要かなと思います。丸森の時は、外に収納倉庫を作ったりしました。

【教育委員】（古泉委員）

私は、坂元中学校でPTAの副会長をしておりますが、PTAの中でも閉校に向けた動きはなにかしないといけないということで、沿革誌をどうするかなど、まだ、ぼんやりとではございますが、話しをしているので、PTAでも動けるものは動いていきたいと思っております。

【教育委員】（大内委員）

閉校も大事にしたいなと思っております。

【教育委員】（菅野委員）

地域の人や同窓会など思いを沢山持っている人たちがいると思います。その人たちのことも考えながら、これまでの歴史を見ながら進めるということを大切にしていかなければならないと思います。

【議長】（齋藤町長）

他にありませんでしょうか。

スケジュールについてはどうでしょうか。

【教育長】（菊池教育長）

制服について、デザイン等を既成のものでなく、まったく新しいものにする場合、今年度の夏から秋には決定しないと間に合わないという話もありますので、その辺のことを制服の検討では、初めにお話をして進めることが必要と考えます。

【教育委員】（大内委員）

新しい制服は新入生からかでよいのか。

在校生は現在の制服との考えでよいのか。

【教育長】（菊池教育長）

そのとおりです。現在の5年生からとなります。

【教育委員】（齋藤委員）

今は、女性でもズボンを履きたいという人もおりますので、女性でもズボンを選べるように考えてほしいと思います。

【教育委員】（大内委員）

女性でもズボンを選べるようにした経験があります。女性用のズボンについても、希望によって買えるようにしました。

【議長】（齋藤町長）

これまでの話を参考にしながら、スケジュールについては、逆算などもしながら検討して頂ければと思います。

その他、お気づきの点ありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

中学校の再編については、2年度の開校に向け、教育委員会において準備委員会を立ち上げ、今後準備を進めるとなりますが、よろしくお願ひいたします。

【議長】（齋藤町長）

次に、（3）学校再編とこれからの学校教育の充実（構想）について、事務局から説明願ひます。

【事務局】（佐藤教育総務課長）

はい、資料3をご覧ください。

学校再編と併せまして学校教育の充実に、取り組んでいくということで方向性は確認しているところですが、具体の取り組みの体制、内容についてまとめておりますのでご覧ください。

名称は仮称ですが、夢・志プロジェクト推進事業としております。将来への夢や志を持ち、その実現を目指しながら社会で生き抜いていける児童生徒の育成を目指し、町内小・中学校の教育活動の充実を図るという目的を掲げております。

現在の小・中学校の課題である、学力・体力ともに全国の調査結果では、全国や県の平均を下回る状況でございますので、そのような現状を確認しながら、推進会議を立ち上げまして、取り組んでいくと構想しているところです。

推進会議の中には、知・徳・体の部会を今後設置する構想ですが、まずはどのような形で事業を展開していけばよいかという具体的な計画をつくるために、今年度は校長会を中心として大学の先生から指導助言を頂きながら、協議検討するというところで進めていければと考えております。

次年度以降では、知・徳・体の部会を正式に設置いたしまして、課題解決のための取り組みを具体的に検討、実施するというところで考えております。

その他としましては、推進会議を今年度は3回程度で、1回目を5月に開催したいと考えております。宮城教育大学に出向きまして、その辺の打診を行っておりますが、快く協力して頂けるということでお話を受けているところであります。

各部会ということで、既存の教頭会、教務主任者会、研究主任社会などそれぞれ年間を通して活動して頂いておりますので、その中でも課題懸案の確認をして頂きながら、今後の実践に向け取り組んで参りたいと考えております。

教育環境整備については、今後ICTの環境整備が必要となって来ますので、今年度は各学校の現状を確認しながら、どのようなものを年次計画を持って整備していけばよいかというところの調査を行うこととしております。

また、県の補助金を活用した不登校対策としまして、心のケアハウスを設置しまして、今年度から事業を実施しておりますし、町独自の学力状況調査を先週各学校にて実施しているところでございます。

このように、学校教育の充実ということで各種事業を展開して参りたいと考えているところであります。説明は以上です。

【議長】（齋藤町長）

只今、事務局から説明がありました。学校再編事業と合わせ「学校教育の充実」にも力を入れ取り組むこととしておりますが、一つの事業として位置づけ「推進会議」として組織を立ち上げ計画的に取り組んでいくことでの説明がありました。

町といたしましても、小・中学校の現状を踏まえ今年度予算に「町独自の学力状況調査」や「心のケアハウス事業」・「割愛や任期付きを活用した教員等の配置」などの経費を計上しております。

このような事でありますので、本日はこれからの学校教育の充実、学習環境の充実に向け意見交換を行いたいと思いますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。

【教育委員】（菅野委員）

はい、学校の再編準備に係る会議と学校教育充実に係る会議と会議が多くなるのかなと感じております。

学校教育充実については年3回ということ、逆に年3回しかないということですので、その会議に臨む際はある程度の原案を作成して臨まないとなかなか進まないのではないかと。また、いろいろ項目が記載されておりますが、1つの会議にあれもこれもというのは難しいところもあります。実際に子どもたちの学力を上げていくということになると、具体的にどのようなことを実施するのかと、そしてどのように活用するのかと、それを実際に実施していかないと効果は上がらないと思います。

ですので、5月に1回目をやるのであれば、具体的にどのようなところまで持っていくのかということ、ねらいとか目標とはをきちんと立てて、実際にやりながら、中間報告で修正をかけて、年度末にまとめると、3回であればそのような流れになると思いますので、話だけをして終わりとならないようお願いいたします。

【教育長】（菊池教育長）

推進会議としては、年3回ということですが、月1回などの定例の校長会を持っていますが、それとは別に日程を設定して、大学からも来て頂きながら、年3回推進会議を行うこととしております。初めの推進会議につきましては、現状の課題の把握や取り組みなどについて指導助言を頂きながら協議していく。2回目は、町として取り組んでいる事業の進捗状況を確認し、3回目の年度末には次年度に向けてということで、菅野委員がおっしゃるような動きをしていきます。

校長会は校長6人の集まりですが、その校長は教務主任者会、研究主任者会、養護教諭部会などそれぞれ担当を持っておりますので、推進会議という校長の集まりの中で、今年度どのようにしていくかということ、意見を交換し方向付けを確認したうえで、自分が担当している各担当者会にあって、新たにこのような取り組みをしていこうなどすることで、全体として知・徳・体の取り組みが充実できるようにしたいと思います。

す。

一から知・徳・体の各部会を設置すると菅野委員がおっしゃるように会議が多くなることが、1番の懸念であるため、基本的には校長の集まりを特別に推進会議として年3回開催し、あとは知・徳・体に係わるような元々の担当者の集まりを生かして、校長がその場で指導助言をしながら充実を図っていくということで、今年度進めていくということです。

学校再編準備もあり、学校教育の充実もあり、両方を同じようにはなかなか厳しいところもありますので、効率的に実が伴うように実施していきたいと思っております。

【教育委員】（大内委員）

実が伴わないで、話だけして終わってしまうことにならないよう、例えば第1回の5月に実施するのであれば、その時になにか1つはやろうと決めて、2学期から実施などのような姿勢でない難しいと思います。

【教育長】（菊池教育長）

この資料の中で、今まで実施していなかった取り組みをすでに今年初めております。

町独自の標準学力調査を年2回実施するうちの1回目が終わりましたし、その結果を今後どのように活用して、各学校の学級担任や教科担任が指導の充実を図れるように統一して取り組んでいくかということのをこれから整理し、行き届かせるように1年間取り組んでいくということで、実際に今学校で実施していることをどのように充実させるかというところを推進会議で確認しながら実のある取り組みをしていきたいと思っております。

【教育委員】（菅野委員）

標準学力調査の分析はどのようなかたちで実施して、今後を生かしていくのでしょうか。

【教育長】（菊池教育長）

この調査は業者が作成しているものを購入し実施しますが、採点と分析も業者で実施し、フィードバックしてきますが、学校では、実態や弱い部分、強い部分などが年度初めの段階で分かりますので、それを基にどこに力を入れて授業をしていくかというところである程度が目当てが出来ますので、分析が届いたら先生方から意見を出してもらいながら、全体として確認をして共通して実施していくことの方角性が出来てくると思います。

【教育委員】（菅野委員）

その際に、宮城教育大学や体力の部分であれば仙台大学などと連携をとって、体力運動能力調査の結果もありますので、休み時間に運動を取り入れたりなどで少しずつ

効果がでてくるのではないかと思います。

【議長】（齋藤町長）

その他なにかありますのでしょうか。

【議長】（齋藤町長）

ご意見ありがとうございました。

学校教育の充実については、今後教育委員会内での協議検討をいただき、町といたしても必要経費については、全面的にバックアップいたしますので、学校再編とあわせ他町に誇れる学校づくりについてよろしく願いいたします。

4 その他【議長】（齋藤町長）

以上で、本日予定しておりました議題については以上となりますが、その他何かありましたらお願いいたします。

【議長】（齋藤町長）

本日は、貴重なご意見や情報交換ができ、大変ありがとうございました。

中学校の再編に向け具体的に進めることとなりますが、町といたしましても、情報を共有しながらバックアップをしてきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

本日は大変ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

5 閉会【事務局】（佐藤課長）

はい、ありがとうございました。

以上を持ちまして、平成31年度 第1回山元町総合教育会議を閉会いたします。

大変、ご苦労様でした。